

於嵯峨太上天皇請以定爲親王曰略中 皇家之胤徒淪胥庶眷言猶子情深矜愍謹檢弘仁五年五月八日詔旨除親王之號賜朝臣之姓如可關者朕殊裁下特望齒列親王榮曜貽孫方寸之思伏聽天裁者嵯峨太上天皇遂不聽焉

〔三代實錄清和〕貞觀八年三月二日戊寅勅沙彌深寂賜姓貞朝臣名登略中 先是貞觀五年九月二十

日三品中務卿親王略中 等奏言深寂是仁明天皇更衣三國氏所生也承和之初賜姓源朝臣預時服

月俸厥後依母過失被削屬籍仍出家入道嘉祥之末更垂優矜略中 今善緣不遂再落俗塵略中 出家

之時既列皇子還俗之日何爲非兒然則准之人間宜復本姓但伏聞嵯峨遺旨母氏有過者其子不得

爲源氏望請賜姓名貞朝臣登叙位階貫京職至是詔許之

賜姓後復親王

〔三代實錄光孝〕仁和三年八月廿五日丙寅詔曰朕之諸兒皆賜朝臣之姓斯誠節國用息民勞之計也

略中 第七皇子定省年二十一便侍朕躬未曾出閣寬仁孝悌朕所鍾憐前被混昆弟之厲行遽編一戶

今欲傳祖宗之駿命何濫請任苟不爲身誰嫌反汗其削臣姓以列親王心星宜肖帝子之名岱岳曷辭

天孫之號

○按ズルニ定省親王ハ其ノ明日立テ皇太子トナリタマフ宇多天皇是ナリ

〔帝王編年記圓融〕貞元二年四月廿四日左大臣源朝臣兼明停大臣爲親王叙二品十二月十日任

中務卿號前中書王是也

〔榮花物語藤原〕大殿藤原おぼすやう世の中もはかなきにいかでこの右大臣藤原いませすこ

しなしあけてわがかはりのそくをもゆづらんと覺したちてたいまの左大臣兼明のおとこ

ときこゆる延喜のみかど醍醐の御十六の宮におはしませすそれ御心ちなやましげなりときこ

しめしてもとのみこになしたてまつらせ給ひつさて左大臣には小野宮の頼忠のおとこをな

したてまつり給ひつ